

3 . 県際部分の連携

ここでは、交通ネットワークの脆弱な地域であり、かつ、青森県・秋田県の県際に位置し、青森・弘前・秋田などの都市に近接している青森～秋田間（主に弘前市・大館市・能代市を結ぶ範囲）の地域をモデルとして取り上げ、地域間の繋がり強化と都市間の連携の方向について検討した。

（１）連携の方向

交通ネットワークからみた連携の方向として、現在の交通ネットワークの空白地域解消のために、青森～秋田間の高速道路網、当該地域と弘前方面のアクセス道の整備を促進することによって、青森市、秋田市、弘前市など周辺の主要都市との時間距離の短縮を図る。それによって、従来は秋田市や青森市へ時間を要して受けていたサービスをより近接する都市で（県境に関係なく）短時間で受けられるなど、住民の生活利便性の向上が期待される。

【交通ネットワーク形成の目標】

第４章までの検討結果を踏まえ、当該地域における交通ネットワーク形成の目標を次のように掲げる。

なお、現状の交通基盤及び今後の高速道路網の整備計画等から、「能代～大館」間のネットワーク強化（日本海沿岸東北自動車道の整備）を図ることにより、青森～秋田間の連携を強化することを基本とし、その一方で、青森～鱒ヶ沢～能代間の日本海側ルート（西津軽能代沿岸道路の整備）についても整備を促進する。

青森市、秋田市から90分圏域で現在の空白地域を解消

弘前から60分圏域で現在の空白地域を解消

青森～秋田間の高速道路網等の整備促進

日本海沿岸東北自動車道、津軽自動車道の整備促進

弘前・黒石IC連絡道路の整備促進

西津軽能代沿岸道路の整備促進

奥羽・羽越新幹線の整備促進

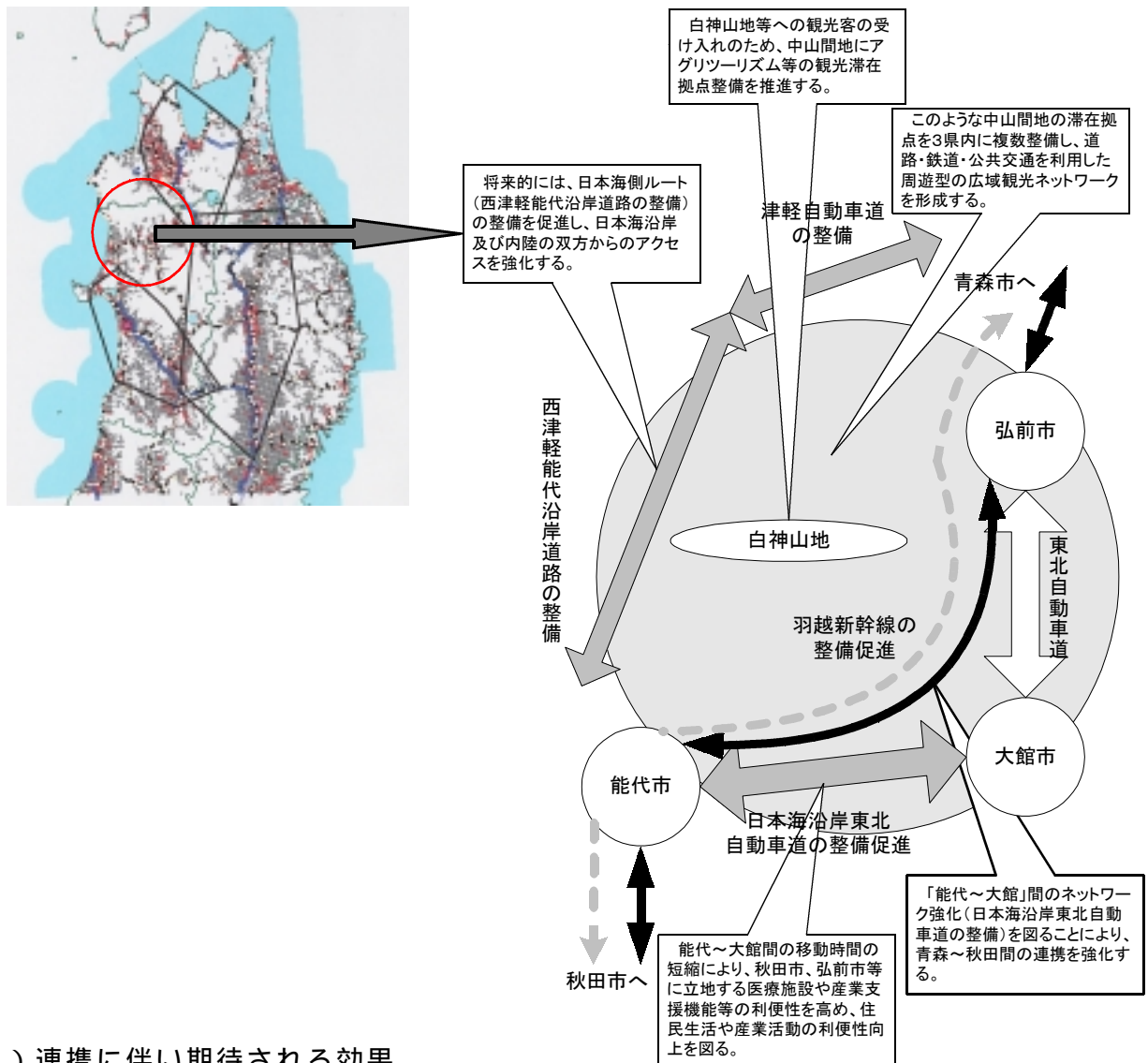
【都市機能連携の目標】

交通ネットワークの強化と併せ、地域住民の生活利便性の向上、産業活動の活性化に向け、都市機能連携の目標を次のように掲げる。

秋田市、弘前市等に立地する医療施設、産業支援機能の利便性向上
 当該地域と周辺都市間を結ぶ交通ネットワークの整備
 新幹線と在来線やバス等のダイヤ連絡の充実
 白神山地等への観光客の受け入れのため、アグリツーリズム等の観光滞在拠点となる中山間地域の整備

図表 5 - 3 - 1 交通ネットワーク及び都市連携のイメージ

対象とする地域(下図の赤丸の部分)



(2) 連携に伴い期待される効果

当該地域において、能代～大館間の移動時間が短縮することによって、能代～大館間はもとより、青森、秋田方面への移動時間が短縮され、青森～秋田間のアクセスが強化される。

それに伴い、能代市や大館市への就業環境の改善、青森市・秋田市・弘前市に集積する高次都市機能の利用やサービスの享受の面で利便性が向上することとなる。